

写 真 图 版



菅谷たたら山内遠景（保存修理前）



菅谷たたら山内遠景（保存修理後）



南東押立柱 a-b 断面 (T1:南東から)



南東押立柱 a-b 断面西側土層 (T1:南東から)



南東押立柱 a-b 断面東側土層 (T1:南東から)



南東押立柱 c-d 断面 (T1:南西から)



送風用土管分岐部 (T2：南西から)



送風用土管分岐部東側 (T2：北東から)



送風用土管分岐部西側
(T2：南東から)



送風用土管分岐部東側
(T2：南西から)



送風用土管
(T3：北東から)



小鉄町1次床ビット (T4:北東から)



小鉄町1次床落ち込み
(T4:北から)



道具池
(T6:北東から)



小銅場
(T7：東から)



小銅場
(T7：北から)



小銅場金敷抜取痕
(T7：東から)



中銅場再結合面
(T8-1:北から)



中銅場列石
(T8-2・3:北西から)



鍛冶炉
(T8-4:南から)



萱ノ鉄穴場跡砂鉄選鉱場（南東から）



萱ノ鉄穴場跡砂鉄選鉱場中池・乙池付近（西から）



池 1 (北から)



池 1 - 大池間水路
(北から)



池 1 - 大池間水路
(南から)



大池（南東から）



大池石積み
（南から）



中池・乙池
（南東から）



中池底板 (T10：南東から)



乙池底面 (T11：南東から)

樋の痕跡
(北西から)



大池－中池間排砂口
(北西から)



中池－乙池間排砂口
(北西から)





中池・乙池と清水路
(北西から)



清水路
(T12：北東から)



清水路
(T13：北東から)

報告書抄録

ふりがな	すがやたたらさんない							
書名	菅谷たたら山内1							
シリーズ名	雲南市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	11							
編著者名	坂本諭司・角田徳幸							
編集機関	雲南市教育委員会							
	http://www.city.unnan.shimane.jp/www.toppage/							
所在地	〒699-1392 島根県雲南市木次町里方521-1							
	Email:bunkazai@city.unnan.shimane.jp							
発行年月日	2024（令和6）年3月31日							
遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
すがやたたら 菅谷鉦	しまねけん 島根県 うんなんし 雲南市 よしだちょう 吉田町 すがや 菅谷	32209	V60	35° 11′ 32″	132° 51′ 45″	2013 0826 ～ 2016 0328	82㎡	修理工事
かやのかんなぼあと 萱ノ鉄穴場跡	しまねけん 島根県 うんなんし 雲南市 よしだちょう 吉田町 すがや 菅谷	32209	V97	35° 11′ 01″	132° 50′ 57″	2014 1001 ～ 1024	3㎡	確認調査
要約	菅谷たたら山内のうち、高殿及び元小屋の修理に伴う発掘調査。高殿では、南東押立柱の据え付け、水車鞆送風管の分岐部、小鉄町の床面嵩上げ、雨落ち溝の状況が明らかになった。元小屋では、棟続きになっていた中銅場・小銅場に設置された金敷の設置位置を確認するとともに、これまで知られていない大鍛冶場の一部を検出することができた。							
	萱ノ鉄穴場跡砂鉄選鉱場の確認調査。大池・中池・乙池と並ぶ選鉱施設のうち、中池で底板を確認した。丘陵側には選鉱を終えた砂鉄混じりの土砂を次の池に移す際に必要な水を供給した清水路が残ることも明らかになった。							

雲南市埋蔵文化財調査報告書 11

菅谷たたら山内 1

発行 2024年3月

発行者 雲南市教育委員会

編集 雲南市教育委員会
〒699-1392 島根県雲南市木次町里方 521-1
電話 0854-40-1075

印刷 株式会社 報光社

